

『うるおいと活力のある ガーデンシティ』を目指して



1 将来都市像

『うるおいと活力のある
ガーデンシティ』

2030年ごろ、海と緑に包まれた渥美半島の中で、活発な産業と豊かな暮らしが共存する美しく誇りあふれる田園都市の実現への想いを込めています。

3 都市構造

「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し、効率的に秩序ある市域空間(都市構造)のイメージを示します。

重点テーマ

田原市の広域的なポジション、地理的条件などから、地域の個性と連携、効率と活力の創出、広域的展望と役割、半島特性の利用と克服の4つを重点テーマとしています。

個別方針

地域の自然環境、都市基盤の集積や土地利用の状況などを総合的に考慮して、道路ネットワーク、土地利用のゾーニングを示します。



2 基本構想の展開

平成13年から始まった渥美郡3町合併の協議から5年を経て、平成17年10月1日、新生田原市”が誕生しました。

新たなまちづくりに向かつてスタートを切った田原市が、市民参加と協働を念頭に置いて、現状課題を整理し、目標を掲げ、主要施策のあり方などを

“まちづくりの指針”となる『田原市総合計画』を策定し、市民・団体・事業者・地域・行政のそれぞれが役割を担つて実現を目指します。

